

公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美
神山哲太郎・大西 厚子

■ 一般質問(抜粋)

【藤田 広美 議員】

障がいのある人などが周囲に支援や配慮を必要としていることを



伝えるヘルプマーク・ヘルプカードは30年度に導入！助ける側を育成するサポーター養成講座を開催し、終了者にバッチを身に付けていただく計画で、ヘルプマーク・ヘルプカードと同時に進める方向で前向きに検討すると答弁がありました。

教員の働き方改革で学校閉庁日は状況に合わせて認める方向。各校に英語の専科教員の申請を働きかける。地域人材を活用した効果的な支援や部活動指導員の配置を検討。教員の健康にストレスチェック制度の早期実施を協議すると答弁がありました。

ほか、障がい者雇用、地域包括ケアアシSTEM構築、認知症対策、消費者被害の防止対策など質問しました。

【大西 厚子 議員】

ひきこもり状態の若者支援について、若者や家族が気軽に相談できる「総合相談センター」や「子供若者支援地域協議会」の早期設置を求め、29年度中に方向性を定める方針で引き続き検討したいと答弁がありました。

て、若者や家族が気軽に相談できる「総合相談センター」や「子供若者支援地域協議会」の早期設置を求め、29年度中に方向性を定める方針で引き続き検討したいと答弁がありました。



幼児のフツ化物洗口の実施は、モデル事業で課題などを明確にして、今後の取り組みを検討したいと答弁がありました。

防災対策で、以前から求めていた、防災会議の女性委員増員について質問。新たな女性委員を加える検討を進めていると答弁がありました。

ほか、火山砂防フォーラムなどについて質問しました。

【池田 謙次 議員】

広告事業

私約10年前に苦小牧市議会で初めて「市が収入を得る取り組み」を提案し、現在では、年間3千万円の収入を得て



市民サービス向上に使われていますと答弁がありました。

沼ノ端地域の銭湯について、10月で廃業の対応策として、6月の厚生委員会ですべて、対象者に対してバス代の助成を提案し実現。さらには、多くの自家用車使用者の実態を踏まえて、今回「ガソリン代」の助成も実現しました。

ほか、1Rについて、苦小牧食糧基地について、挨拶運動について質問しました。

【林 光仁 議員】

【移住促進策の検討状況について質問。市はどんな施策が求められているかのアンケートを実施し、移住先を選ぶ際に重視しているのは仕事の有無・交通便利性・住まいの順であり、移住を決定させる支援策は何かについては、お試し移住体験が多い結果だった。引き続き調査検討すると答弁がありました。】



空き家対策での所有者に対する意向調査について質問。29年度内に撤去・売却・賃貸借などの意向調査を

し、空き家等対策計画に反映させることと答弁がありました。

ほか、Uターンの促進策について、イノベーション基盤構築事業についてなど質問しました。

■ 決算審査特別委員会質疑(抜粋)

【神山 哲太郎 議員】

救急車緊急搬送の適正利用について



増える救急搬送に関して、救急車を呼ぶか迷ったときに電話する救急安心安全センター事業(＃7119)があるが参入する考えはないか質問。センターへ連絡すると看護師が助言する利点があるが経費が高額なため今後検討していくと答弁がありました。

【職員人事評価制度について】

28年度本格的に運用しているが公平公正をどのように保つのか質問。統一的な評価基準の見直しや評価者訓練の研修を実施して精度を保つことと答弁がありました。